まちづくりの主役は市民一人ひとりです



木更津市議会議員　田中のりこ

通信 みんなのひろば No.15

発　行: 通信 №15　2026年　秋号
田中のりことみんなの会
TEL　：070-2172-8480(連絡・活動用)
MAIL ：tanaka-noriko@live.jp



ブログ　facebook　みんなの会ＨＰ

黄色いごみ袋で出したプラスチック資源

その後が知りたくて

工場見学



「食用油のプラスチック容器は、さっとすすぐだけでいいですよ』
「切った木?のようですが」
「あっ、それは、プラスチックを再利用して作ったものです」

工場見学　絵／市原市在住　元県議会議員の山本友子さん

ごみ分別方法がプラスチック包材だけでなく、プラスチック製品も黄色いごみ袋で出せるようになり、1年がたちました。

君津市坂田にある㈱佐久間　君津エコパークは、昨年10月にオープンしたプラスチック資源を中間処理する工場です。

昨年の出前講座での要望　工場見学



昨年開催したきさらづ出前講座で、「プラスチックごみはどうやってリサイクルしているのか」という声があり、10月29日に工場を見学してきました。ちょうどこの日は、木更津市のごみを分別していました。

① 上にあげて、落としながら袋をやぶきます。
② エアーで吸引し分別。軽量は上、重量は下へ
③ 手前は軽量を選別、奥は重量選別
④ 圧縮梱包(300～350kg)

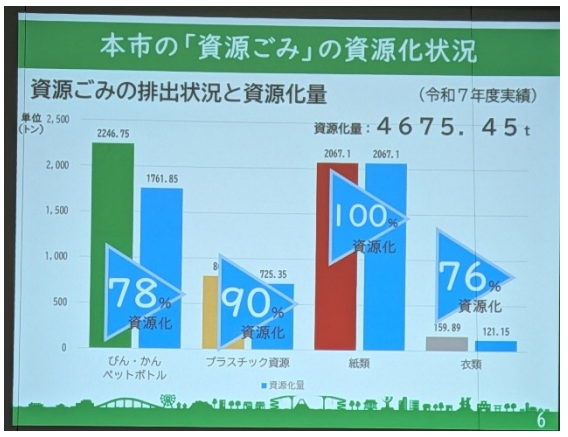
黄色いごみ袋に入れないでほしいもの



「プラスチックだけでできているものだけにしてください。プラスチックと金属、プラスチックと布などは、入れないでください」と現物１つ１つを説明していただきました。

参加者から
「プラスチックの食用油は、洗っても油が落ちないので、リサイクルできないでしょ?」
すると、工場の方が
「さっとすすぐだけでいいです。あとはまかせてください」と心強い返答でした。さっとすすぐだけで、とにかく、分別を徹底することが私たち市民のできることですね。

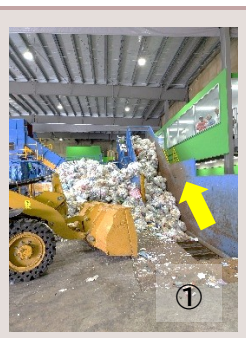
工場の見学ルートを歩き、一通り説明を受けたあと、木更津市の職員から木更津市の現状を聴きました。

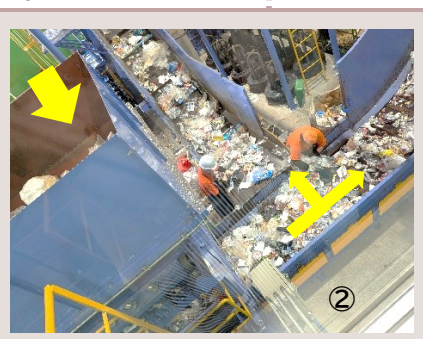


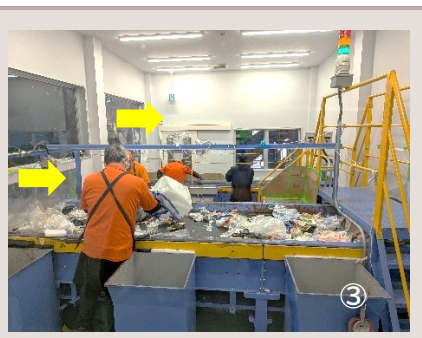
木更津市の資源ごみの資源化状況

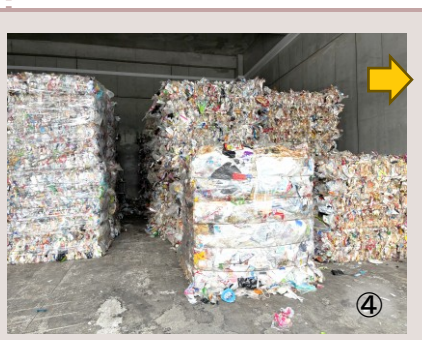
これは、令和７年度の実績ですが、令和５年から３年続きで、資源として売れたに応じて、容器包装リサイクル協会より市への収入があります。これは、きれいに分別したプラ資源は、リサイクル率が良いからと知りました。参加者は、「来てよかったー」と口々に話していました。

分別は手作業


①


②


③


④

指定ルートで再資源化

資源として売却できたら市の収入

市民目線で 暮らしと政治をつなぐ

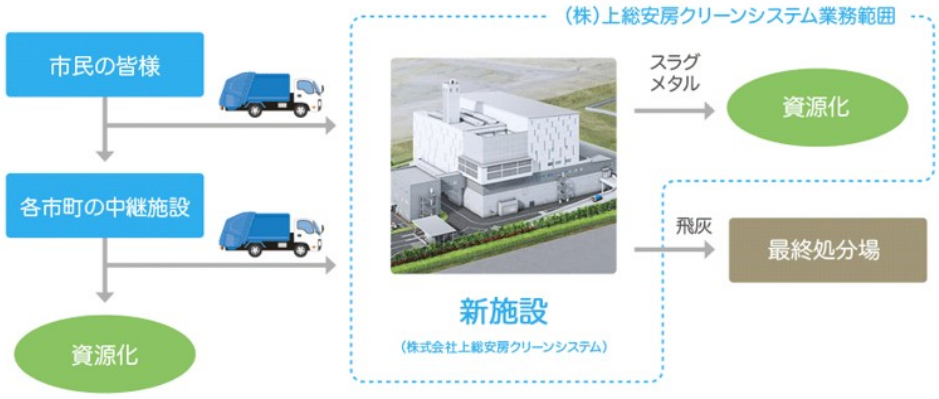
お知らせ 家庭からでた燃やせるごみ(赤い袋)を処理する施設ができた

今まで、燃やせるごみ(赤い袋)を収集して、(株)かずさクリーンシステム(木更津市新港)の溶融炉で処理していました。

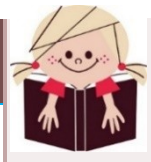
でも、施設の老朽化により、新しい広域廃棄物処理施設を富津市新富に建てました。これまでの4市(木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)の他に、鴨川市、南房総市、鋸南町も加わり「(株)上総安房クリーンシステム」が稼働します。

10月は、炉に火入れをし、徐々に温度を上げ、11月から試運転が始まり、木更津市の燃やせるごみ(赤い袋)は、富津市へ運んでいます。今後、他自治体も徐々に運び、試運転をします。2027年4月からは、本格稼働となります。

ごみカレンダーで今まで同様です。







暮らしに香る本シリーズ ㊱

このゴミは収集できません

滝沢秀一

1976年生まれの作者は今年で50歳になります。28歳でお笑いの「マシンガンズ」を結成しましたが、収入が足りずお笑い芸人を続けながらゴミ収集会社に就職しました。

この本は8年前に発行されていますが、書かれている事実は現在とあまり変わらないようです。

ゴミ集積所が汚い場所は治安が悪く、引越す時は下見の必要があります。ルールを無視してどんなゴミでも出していく住人がいるとか、決められたゴミ袋ではなく、スーパーの袋に入れたペットボトルがいっぱい置いてあるとか、時間遅れに出しておきながら、電話で怒鳴りつけてもう一度取りに来させるとか、世の中にはいかに非常識な人が多いか、清掃員の困りごとが山ほど書かれています。

日本人が1人1年間に出すゴミの量は 320 kgで、ダントツ世界一だそうです。 (宮下)

活動報告 残土条例改正は来年４月から! 中央地区祭でパネル展示



たとえば
こんな場合を
展示しました。



ちょっと貸してと言われただけ。事業者に連絡がつかず戸惑う土地所有者。

➡現在も来年4月1日以降についても、事業者に土地を貸すことは管理責任が土地所有者にあるので、土地の貸し出しは十分注意。



前の土地所有者がやった事と受け付けない。

➡残土条例上は土地所有者が事業者と判断できない場合は、責任追及されませんが、盛土法及び民法上の責任追及はあり得ます。

お知らせ 挑む 会派「共創・実りの会」議会のみえる化

田中紀子は、これまで1人会派の政務活動費を活用し、決算審査等の報告を小冊子にした議会報告を毎年発行(2020 年より)してきました。

2026年4月より、堀切俊一議員とふじた真澄議員と3人で会派「共創・実りの会」を立ち上げ、活動しています。

そこで今年度は、3人の政務活動費を活用して、新たな議会報告書を作成中です。お楽しみに。できましたら、お知らせします。

教育のひろば

教育現場の教師からのつぶやき⑮

三つ子の魂百まで

冬になったような寒さが急にやって来ました。

内房線は、予定よりずっと早く再開されました。通学に利用している生徒たちが喜んでいます。復旧作業、バス運行をしてくださった皆さん本当にありがとうございます。

ところで最近の授業中の机間巡視やテストの監督、実習時に思う事があります。ペンや箸の持ち方がぎこちない生徒がとても多くなったようです。そのため人前で書いたり食べたりしたくないという生徒が増えているのです。

一度身に付いたものを直すのは時間もかかりますし、とても苦労します。箸やペンを持ち始める時期にちょっとだけ心を鬼にして指導してあげて欲しいと思っています。大人になって人前で自信を持って笑顔で箸やペンを持てるように。

そして、一生付き合う箸とペンだから、より上手に使いこなして欲しいと思います。

(YAPPY)

●△◆お知らせ伝言板〇▼◇ 070-2172−8480(予約・連絡・活動用)

2027年度 米作り体験者募集

主催 みんなでお米をつくろう

説明会 12月 13 日(日)
11:00-11:50
八幡台地域交流センター(旧公民館)

まずは説明をきいてから考えよう
【要 電話予約】資料の準備のため
- 説明のあと、田んぼに案内します。
- 当日、都合が悪い方は、別日に説明をします。

2026年度は有志14家族で、年間通じて米作りを体験しました





2025年12月



2026年2月油かすを撒く



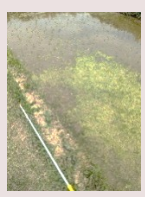
3月水路掃除



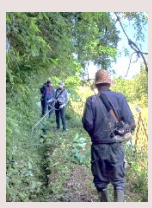
4月代かき



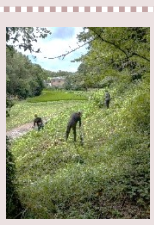
5月田植え



5月藻を取り出す



5月水路草刈



7月水路草刈



8 月 稲穂でる



9月 長雨でやっと稲刈り→雨の重みで倒れ修復→雨天順延のため少人数で脱穀→籾摺り





収穫祭は豚汁とおにぎりで





10月収穫祭

田中のりことみんなの会 サポーター会員 随時募集中 入会 1000 円